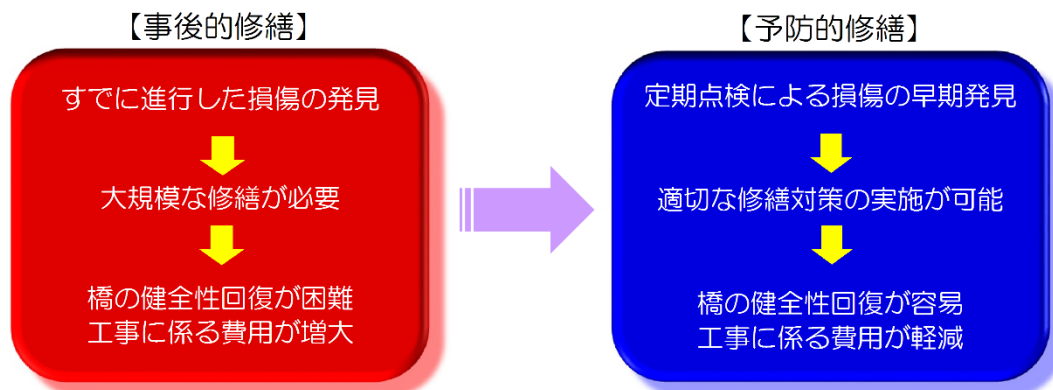


1. 計画策定の背景および目的

与論町では、茶花市街地にある与毛田橋をはじめ5つの橋梁を管理しています。この内1橋は、すでに橋の老朽化の一つの目安である供用年数50年を超えています。また、12年後には5橋中3橋が50年を超えるものとされます。

このように高齢化が進む橋梁の維持管理を行うためにはコストが膨大となり、厳しい予算制約の中で適切な維持管理の継続が困難となることが予想されます。

維持管理手法の転換



このような背景を踏まえて、与論町建設課では平成27年度に専門知識を有する学識経験者の方々のご助言を頂き「与論町橋梁長寿命化修繕計画」を策定致しました。本計画は、中長期的な維持管理の取組みを示した行動計画であり、従来の事後的な修繕から予防的な修繕へと維持管理手法の転換を図ることで、橋梁の長寿命化と補修・架替えに係わる費用の縮減を図ることを目的としています。

2. 長寿命化修繕計画の概要と基本方針

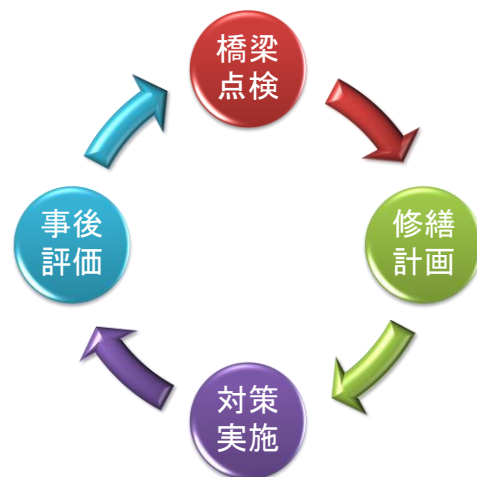
策定した「与論町橋梁長寿命化修繕計画」では、与論町建設課が管理する全橋梁5橋が計画対象となります。

定期点検による損傷の早期発見、清掃による劣化防止・損傷の発生抑制に努め、日常的な維持管理による予防保全への取組みを推進し橋梁の長寿命化を実現していきます。

なお、定期点検では全橋梁を対象に5年に1回の頻度で、専門的な知識を有する技術者による点検・診断を実施することで橋梁の状態を把握し、使用安全性・修繕必要性を確認します。

本計画は右記の長寿命化修繕計画の流れに示すフローのように運用し、皆さんが、橋を「安全に」「安心して」「長く」利用し続けることができるよう、より効率的・効果的な維持管理を行ってまいります。

長寿命化修繕計画の流れ

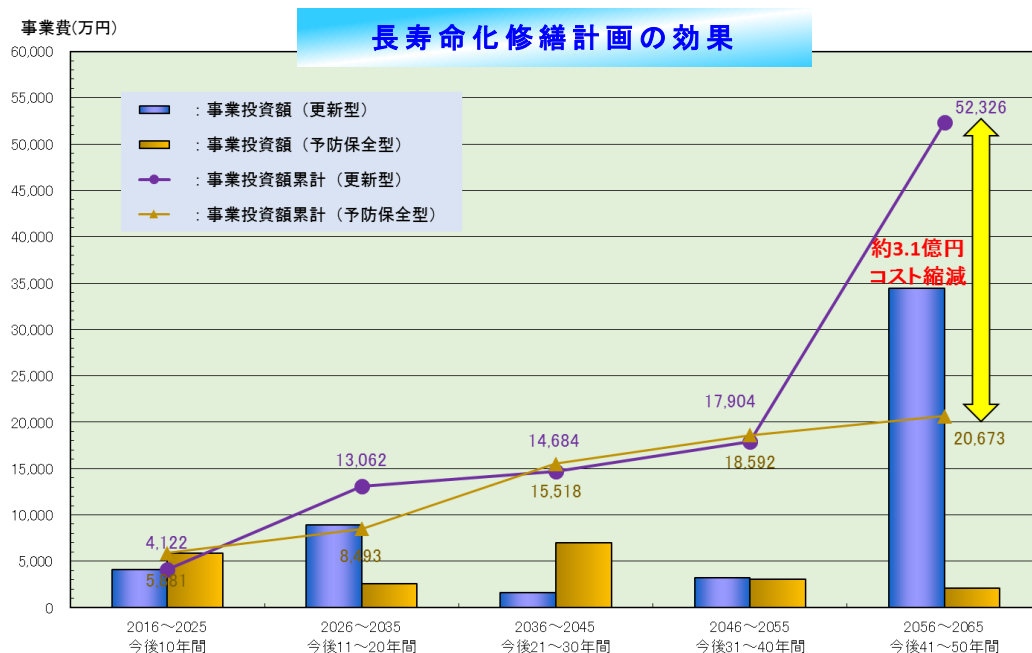


3. 長寿命化修繕計画の効果

計画的に修繕を実施する場合（予防保全型）と、損傷が著しく進行した後に対処療法的に架替えする場合（更新型）の総事業費を比較した結果、今後 50 年間で累計約 3.1 億円のコスト縮減が見込めるものと試算されました。

なお、本計画は劣化予測モデルの信頼性を高め、より効率的・効果的な維持管理を行うために、5年に1回の定期点検を実施し、その点検・診断結果を基にした10年ごとの見直し（レビュー）を行います。

- | | | |
|--------------------|---------------|----------|
| 1) 対症療法的（更新型）事業費 | 50年間総費用 | 約 5.2 億円 |
| 2) 計画的修繕（予防保全型）事業費 | 50年間総費用 | 約 2.1 億円 |
| 3) コスト縮減効果 | $5.2 - 2.1 =$ | 約 3.1 億円 |



注) コスト縮減効果は、財政事情や社会情勢の変化等により、今後変動する恐れがあります。

4. 意見を頂いた有識者

本計画の策定において、専門知識を有する学識経験者として

鹿児島大学大学院 教授 武若耕司

鹿児島大学大学院 教授 山口明伸

の御両名に助言を頂いております。



計画策定部署 与論町役場建設課

〒891-9301 鹿児島県大島郡与論町茶花 32 番地 1

TEL 0997-97-3111

【平成 28 年 3 月】